

町立病院からのお知らせ

ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎の除菌について

ピロリ菌ってどんな菌ですか

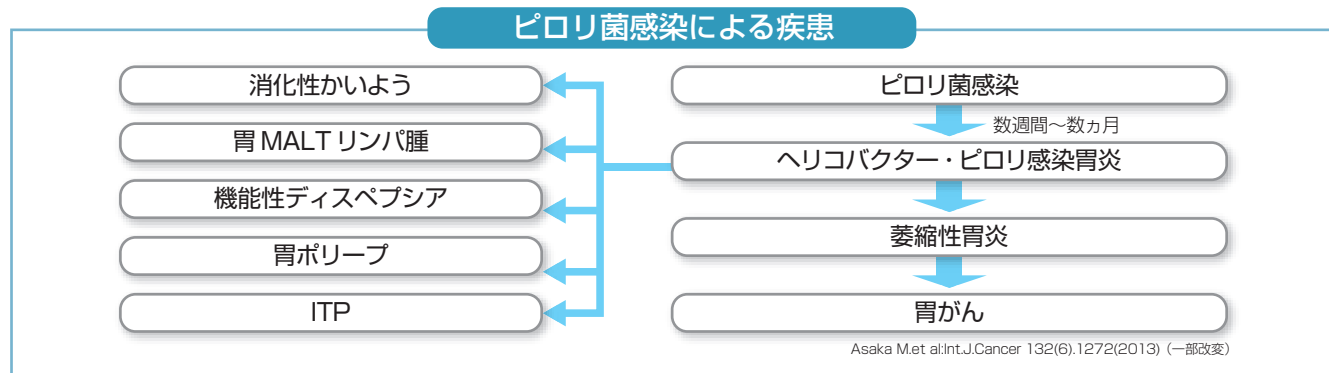
ピロリ菌は正式にはヘリコバクター・ピロリという細菌で、1983年にオーストラリアのウォレンとマーシャルによって発見されました。ピロリ菌が胃・十二指腸かきょうなどの原因に

なっていることがわかり、ウォレンとマーシャルは2005年にノーベル医学生理学賞を受賞しています。

ピロリ菌感染による疾患

ピロリ菌に感染すると全員がヘリコバクター・ピロリ感染胃炎を引き起こします。ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎は慢性活動性胃炎ともいわれ胃粘膜に多数の白血球の浸潤を伴う胃炎です。ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎は消化性潰瘍、胃 MALT リンパ腫、機能性ディスペプシア (FD)、胃ポリープ、

特発性血小板減少性紫斑病 (ITP) を引き起こし、萎縮性胃炎を経て一部は胃がんを引き起こすことが知られています。今回、ヘリコバクター・ピロリ感染胃炎に除菌の適用拡大がされたので胃がんを含むヘリコバクター・ピロリ感染胃炎に基づくほとんどの疾患を抑制できる可能性があります。



ピロリ菌はどのように感染するのですか

どのように感染するのかははっきりわかっていませんが、口から感染するのが大部分であると考えられています。衛生環境と関連していることが報告されていて、感染する機会は減ってきていると考えられています。

日本人のピロリ菌感染者はおよそ3500万人といわれています。ピロリ菌は特に50歳以上の人で感染している割合が高いとされています。しかし衛生環境が整ったことによって、ピロリ菌に感染している割合は減少しており、若い世代では低くなっています。今後は、ますますピロリ菌に感染している人は減っていくと予想されています。

ピロリ菌に感染すると胃に炎症を起こすことが確認されています。胃・十二指腸かきょうの患者さんでピロリ菌を検査すると、約90%の患者さんがピロリ菌に感染していて、ピロリ菌が胃・十二指腸かきょうの原因になっていることがわかっています。ピロリ菌がいる場合には1度かきょうの治療をしても1年後には60%以上の患者さんが再発してしまいます。ピロリ菌を除菌することによって胃・十二指腸かきょうの再発率は著しく低下することが認められています。

ピロリ菌は胃・十二指腸かきょうの他にどのような悪さをするのですか

代表的なものとしては胃がんとの関連性が指摘されています。ピロリ菌に感染している人と感染していない人に対して10年間調査を行ったところ、感染している人では2.9%に胃が

んが発生したのに対し、感染していないひとでは胃がんは発生しなかったという研究報告があります。

ピロリ菌の検査はどのようにするのですか

大きく分けて内視鏡(胃カメラ)検査を必要とする方法と、必要としない方法があり、全部で6つの方法があります。当院では、前者が迅速ウレアーゼ法、組織鏡検法;後者が尿素呼吸試験法、抗体測定法を用いています。

ピロリ菌の除菌治療は

2種類の抗生物質と胃酸を抑えるおくすりの3種類のおくすりを朝と夕方の1日2回1週間しっかりと続けるのむことで約70~80%の患者さんはピロリ菌を除菌できます。除菌が成功したかどうかは除菌治療終了後4週間以上あけて検査をすることでわかります。

最後に、ヘリコバクター・ピロリ感染によって惹起される慢性胃炎は胃癌の非常に重要な危険因子であり、除菌によって胃の炎症状態を改善させることは、胃癌の発生抑制に有用と考えられます。



ピロリ菌の除菌について詳しく知りたい方は、当院外科もしくは消化器内科を受診してみてください。

和町立病院 診療部長 岩永 祐治

平成25年住宅・土地統計調査が行われます



総務省統計局(和町)では、10月1日現在で住宅・土地統計調査を実施します。

この調査は、住生活に関するもっとも基本的で重要な調査で、全国約350万世帯を対象とした大規模な調査です。今回和町内では約150世帯が対象となりました。9月下旬より、調査員が調査票の記入をお願いに伺った際には、調査票へのご記入、又は、インターネットでの回答をお願いします。

【調査の概要】

調査のねらい	①住生活を支える居住環境、②耐震性・防火性といった住宅性能水準の達成度や省エネルギー性能住宅、③土地の有効利用状況を明らかにする。
調査基準日	平成25年10月1日
調査対象	統計上の定められた方法により無作為に抽出された世帯 ⇒全国約350万世帯(和町約150世帯)
調査方法	調査員が、選定された世帯に直接調査票を配布・回収します。
調査結果の利用	国や地方公共団体の各種行政施策、国民経済計算の推計、白書等における分析、学術研究など

「かたり調査」にご注意!

統計調査員をかたって、調査に関係のない者が調査票を回収したり、手数料(調査に手数料は一切かかりません)をだまし取ろうとする「かたり調査」にご注意ください。調査員は、必ず証明書を持参していますので、ご確認の上、調査にご協力いただきますようお願いいたします。また、不審な人物や電話があった際には、役場企画課又は最寄りの警察署へ届けられますようお願いいたします。

ひとつひとつの住まいの今が、確かな未来を描きます。

震災後初の、住まいに関する大切な調査です。

インターネット回答も可能です。

住まいから描く日本の未来地図
平成25年10月1日(火)
住宅・土地統計調査

一定の統計上の抽出方法に基づき選定された調査対象世帯に、調査員がお伺いします。ご回答いただいた内容は、統計法によって厳重に保護されますので、安心してご回答下さい。調査の結果は、皆さまの暮らしに役立てられます。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

総務省統計局ホームページ <http://www.stat.go.jp/>

総務省統計局 都道府県・市区町村 からのお知らせ

問い合わせ先 本庁企画課 企画係 ☎0968・86・5721

“狂犬病予防集合注射を実施します”

今年度、まだ狂犬病予防注射を接種していない犬(生後3ヵ月以上)を対象とした集合注射を右記の日程で実施します。

また、新しく犬を飼われた方は必ず登録をしてください。登録手数料として別途3,000円が必要となります。

なお、狂犬病予防注射は動物病院でも受けることができます。

登録・注射日程	受付時間	実施場所
10月6日(日)	9:00~11:00	三加和総合支所裏車庫前
	13:00~15:00	本庁役場裏車庫前

集合注射費用 3,000円

問い合わせ先 本庁税務住民課 生活環境係 ☎0968・86・5723
総合支所住民課 住民生活係 ☎0968・34・3111(内線751)